

ハイウェイテクノフェア 2021 出展のご報告

10月6日（水）、7日（木）、東京ビッグサイトで開催されたハイウェイテクノフェア 2021 に、当社と宮地エンジニアリンググループ株式会社の事業子会社であるエム・エムブリッジ株式会社が共同出展しました。

当社は、FRP材料を用いた橋梁関連製品、合成桁の床版切断工法（M-SRシステム）、構造物の挙動を監視するモニタリングシステム（M-STモニタリングシステム）について、パネルやモニター映像等を駆使して説明を行いました。

会場のブースにご来場されたお客さまやお取引先の皆さまにはこの場を借りて御礼申し上げます。

また、実際にご来場いただけなかったお客さま等におかれましては、製品情報等を当社ホームページにも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



<製品の名称>

【FRP検査路】

(※NETIS 登録番号：CB-120033-VE)

<主な特徴>



- 材料が軽く(鋼材の約 1/4)、施工性に優れる
- 重機の進入が出来ない山間部や斜面でも人力で十分搬入可能
- 海岸部や工業地帯などの耐食性を求められる地域にも最適(錆びない)

【FRP防護板】



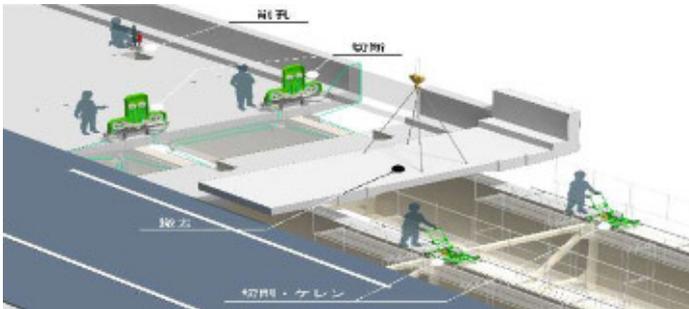
FRP 防護板



- ・鋼製橋梁の下面にFRP防護板を敷設することにより、ライフサイクルコストの低減や維持管理の軽減を図りながら、確実かつ合理的に橋梁本体の長寿命化に寄与
- ・主構造や床版の近接目視点検補修作業を行う常設足場(検査路)として使用可能
- ・塗装に有害な塩分や排気ガスに対する暴露面積を削減
- ・エッジが多く腐食し易い二次部材, 添架物等を外部環境から遮蔽
- ・主桁間を内面塗装に変更することで、塗装費用, 塗替え費用を削減

【M-SRシステム】

(特許第 6393733 号、特許第 6355811 号)



- ・合成桁の主桁上をスタットジベルごと水平に切断する工法で、床版コンクリートを大型パネル形状で撤去する、新たな床版撤去工法
- ・大型パネル形状で撤去でき、工期短縮に貢献
- ・ハツリ作業を省略でき、騒音を低減
- ・削孔・切断は無水方式により汚水の処理が不要
- ・粉じんも確実に制御でき、飛散を防止

【M-STモニタリングシステム】

(※NETIS 登録番号：KT-200126-A)



- ・鋼橋及び空間構造物架設工事において、仮設構台設備(ベント)などの傾き等をコードレスセンサーで常時モニタリングを実施
- ・基準値を超えた傾きが発生した場合、直ちに警報メールをスマートフォンやパソコンに発信
- ・無線式でバッテリー稼働の為電源確保、設置が容易
- ・データを 3G/4G回線にてクラウドへ自動的にアップでき、遠隔でのモニタリングが可能。

<宮地エンジニアリング株式会社技術紹介サイト>

<https://www.miyaji-eng.co.jp/technology/>

<お問い合わせ先>

宮地エンジニアリング株式会社

開発営業部 部長 渡部陽一

電 話 : 03-3639-2265

E-mail : watabe.yohichi@miyaji-eng.co.jp